

母相関係数が 0 以外の特定の値であるかどうかの検定

青木繁伸

1 目的

母相関係数が 0 以外の特定の値であるかどうかの検定を行う。

2 使用法

```
from cor_test2 import cor_test2
cor_test2(n, r, rho
```

2.1 引数

n	標本の大きさ
r	標本相関係数 (ピアソンの積率相関係数に限る)
rho	母相関係数 ($\rho \neq 0$)
verbose	必要最小限のプリント出力をする

2.2 戻り値の名前

"n"	標本の大きさ
"r"	標本相関係数
"rho"	母相関係数
"z"	検定統計量 (標準正規分布にしたがう)
"p"	p 値
"method"	検定手法名

3 使用例

```
import sys
sys.path.append("statlib")
from cor_test2 import cor_test2

a = cor_test2(24, 0.476, 0.3)
```

母相関係数が 0 以外の特定の値であるかどうかの検定

n = 24, r = 0.476, rho = 0.3, z-value = 0.95446, p-value = 0.3399